

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： フラボノイド生合成の細胞内動態を探る
2. 個人研究者名  
和氣 駿之（東北大学大学院工学研究科 助教）
3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究は、メタボロン研究という細胞内代謝解析の大きな課題に取り組んだ意欲的なテーマであった。植物フラボノイド生合成に関する深い知識をもとに、粘り強く、精力的に様々な手法を導入しながら未同定のメタボロン構成タンパク質の同定に取り組んだ。アントシアニン合成における未同定反応の関与酵素は海外別グループに残念ながら先駆けて発見されてしまったが、その研究成果も踏まえて新たな展開を構想し、研究を粘り強く継続している。植物フラボノイド代謝研究を代表する研究者として今後の研究のさらなる発展を期待している。また、カルコン還元酵素の遺伝子同定に利用できる酵母システムの構築ができており、将来的にデオキシカルコンの生合成メカニズムの解明が期待される。

ACT-X において様々な分野、背景の同世代の研究者と交流を持ち、共同研究が進められていることは、将来の研究の展開に非常に役立つことであろう。